

安心安全な通学手段の体制について

通学距離及び通学時間の基準(文科省)

○ 現在の規定では、通学距離については小学校でおおむね 4 キロメートル以内、中学校でおおむね 6 キロメートル以内であることが適正とされている。(※「義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令」)

○ 徒歩や自転車による通学距離としては、小学校で4km以内、中学校で6km以内という基準はおおよその目安として引き続き妥当であると考えられます。その上で、各市町村においては、通学路の安全確保の状況や地理的な条件に加え、徒歩による通学なのか、一部の児童生徒について自転車通学を認めたり、スクールバスを導入したりするのかなども考慮の上、児童生徒の実態や地域の実情を踏まえた適切な通学距離の基準を設定することが望まれます。(公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引より)

○ 適切な交通手段が確保でき、かつ遠距離通学や長時間通学によるデメリットを一定程度解消できる見通しが立つということを前提として、通学時間について、「おおむね1時間以内」を一応の目安とした上で、各市町村において、地域の実情や児童生徒の実態に応じて1時間以上や1時間以内に設定することの適否も含めた判断を行うことが適当であると考えられます。(公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引より)

多気地域小学校統合にあたっての基本的方針(抜粋)

5. (5) 安心安全な通学手段の体制に関すること

通学距離が長くなることから、スクールバス等による安心安全な通学手段を確立するとともに、教育の機会均等を図る観点から通学にかかる時間を概ね1時間以内となるように体制整備と調整を行います。

勢和地域の現状

勢和小学校への通学手段はスクールバスと徒歩での通学となっている。

○スクールバス通学

三養地区(色太、土屋、車川) 最長乗車時間 20 分

丹生地区(丹生) 最長乗車時間 20 分

波多瀬地区(波多瀬、名古地区) 最長乗車時間 25 分

○徒歩通学

朝柄、古江、上出江、下出江、片野

徒歩通学最長距離:朝柄、片野 約 2.3km

統合校における通学手段の条件整理(案)

3校先行統合時

佐奈小学校区 :現状通り

津田小学校区 :全域スクールバス通学

外城田小学校区:全域スクールバス通学

4校統合校時

・通学距離

徒歩通学:2.5km以内 スクールバス通学:2.5km以上

・通学時間

おおむね1時間以内

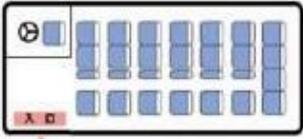
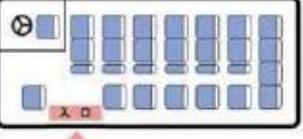
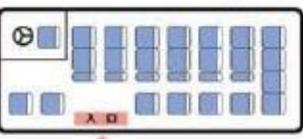
以上の条件で、協議検討を重ねていきたい。

○参考:統合先行自治体での意見等

- ・通学距離よりも通学の安全性確保。
- ・乗車時間が長くないように配慮してほしい。
- ・先行自治体では、スクールバス通学による「児童の肥満・体力不足」が指摘されているため、歩かせることの必要性。
- ・朝の家を出る時間が早くないように配慮してほしい。
- ・スクールバス停留所は、ある程度歩くことを前提として設定してほしい。
- ・バスの待機所の確保。

など

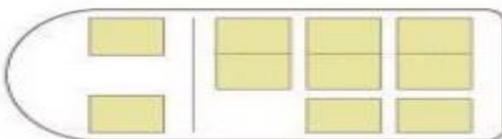
【参考資料】

マイクロバス		<p>28名乗り 正座席：22席 補助席：6席</p> 	<p>28名 (正座席22席 補助席6席)</p>	<p>長：6.99m 幅：2.08m 高：2.84m</p>	<p>テレビ ポデイトランク(小)</p>
		<p>28名乗り 正座席：22席 補助席：6席</p> 	<p>28名 (正座席22席 補助席6席)</p>	<p>長：6.99m 幅：2.06m 高：2.62m</p>	<p>冷蔵庫 ポデイトランク(小) ※冷蔵庫取り付けの場合、乗車定員が27名(正座席21席)となります。</p>
		<p>28名乗り 正座席：22席 補助席：6席</p> 	<p>28名 (正座席22席 補助席6席)</p>	<p>長：6.99m 幅：2.03m 高：2.58m</p>	<p>テレビ 観音屏 DVD</p>

<p>10人乗り ハイエースワゴン トヨタ(グレード グランドキャビン)</p>	定員	10名
	排気量	2,700cc
	燃料	ガソリン
	ミッション	オートマチック

総重量	2,590kg
オプション・装備	ナビ・ETC・バックアイカメラ
車間	全長 538cm 全幅 188cm 全高 228cm
室内	長さ 352cm 幅 169cm 高さ 156cm
燃料タンク容量	70L
タイヤサイズ	195/80R15

普通免許 ETC付き ナビ付き



※型式により、車両サイズ等に若干の違いが生じる場合がございます。※車種名指定はできません。